# 大型クラゲ発生源水域における国際共同調査

**【平成２０年度概算決定額　２２２（２６８）百万円】**

## 対策のポイント

**我が国沿岸地域において、大型クラゲによる漁業被害を防止・軽減するため、中国・韓国と連携した国際的枠組みの中で、発生・出現過程の解明等に取り組みます。**

（背景）

- 大型クラゲは近年、連続して我が国沿岸に大量出現し、今後も大量出現の可能性。
- 大型クラゲが定置網及び底びき網等へ入網することにより、作業の遅延、漁獲物の鮮度低下等、我が国の漁業に大きな被害が発生。
- 大型クラゲの発生源となる水域は、中国、韓国の沿岸と考えられており、発生源水域における発生原因を究明し、その発生と我が国沿岸への出現過程を科学的に解明することが重要。

## 政策目標

**低位水準にとどまっている水産資源の回復・管理の推進**

**＜内容＞**

**１．日中韓の科学者による共同調査の実施**

中国、韓国と連携し、大型クラゲの発生・成長過程等の把握を目的とした東シナ海及び隣接水域での大型クラゲの分布調査、海洋環境調査等を実施します。

**２．日中韓共同調査の結果に基づく国際シンポジウムの開催**

日中韓の科学者による国際シンポジウムを開催し、情報交換等を行います。

**３．日中韓の共同による発生源の特定及び発生・出現過程の把握**

中国、韓国と連携し、発生海域の解明と発生・成長及び出現過程の解析を目的とした調査研究並びに予測手法の高度化のための技術開発を実施します。

**４．日中韓の共同による発生源水域等における早期対策技術の開発と普及**

大型クラゲの発生早期段階でのモニタリング及び駆除を目的として、各種対策漁具等の開発とその普及のための研究開発を実施します。

（　委託先：民間団体等　）

担当課：水産庁研究指導課
担当班：企画調整班
０３－３５０２－０３５８（直）